



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス

上場取引所 東

コード番号 9037 URL <https://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 竹内 義之

TEL 053(444)0054

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	64,962	6.0	5,628	2.2	6,090	5.7	3,664	8.1
2022年3月期第2四半期	61,267	6.2	5,504	12.5	5,764	12.8	3,389	7.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,158百万円 (7.4%) 2022年3月期第2四半期 3,872百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	195.03	
2022年3月期第2四半期	180.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	139,879	84,744	53.2
2022年3月期	135,672	81,592	52.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 74,367百万円 2022年3月期 71,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		45.00	85.00
2023年3月期		45.00			
2023年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	5.5	11,900	7.1	12,400	3.7	7,300	2.6	388.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	19,012,000 株	2022年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	224,789 株	2022年3月期	224,751 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	18,787,234 株	2022年3月期2Q	18,787,284 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第2四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	6
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、経済社会活動の正常化に向けた持ち直しの動きがみられたものの、急速に進んだ円安や食料品等の日用品の相次ぐ値上げ、ウクライナ情勢の世界経済への影響等により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第2四半期連結累計期間は、営業収益649億62百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益56億28百万円（同2.2%増）、経常利益60億90百万円（同5.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益36億64百万円（同8.1%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第2四半期連結累計期間の営業収益は406億85百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は49億5百万円（同7.3%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したこと、東日本急行(株)を子会社化したことによるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、8社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した2社を含めた10社のうち6社稼働しております。残り4社につきましては、第3四半期以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、152センターとなっており、第3四半期には新たに山口県内で自社センターの竣工を予定しております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第2四半期連結累計期間の営業収益は242億77百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は7億21百万円（同22.4%減）となりました。

増収の主な要因につきましては、燃料単価高騰による影響を価格転嫁できたことや2021年10月に大一運送(株)、2022年2月に中神運送(株)を子会社化したことによるものであります。

減益の主な要因につきましては、営業収益の増加や積載率の向上、輸送コストの抑制に取り組みましたが、外注費増加の影響を受けたこと等によるものであります。

今後につきましては、新規案件の獲得やグループ内での取引拡大を進め、物量の増加に努めるとともに、管理強化による輸送コストの抑制に取り組み、収益の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比42億6百万円増加し、1,398億79百万円となりました。これは主に、設備投資によるものと、連結子会社の増加により流動資産及び固定資産が増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比10億55百万円増加し、551億34百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加によるものと、連結子会社の増加により流動負債及び固定負債が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比31億51百万円増加し、847億44百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益36億64百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から53.2%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,320億円（前年同期比5.5%増）、営業利益119億円（同7.1%増）、経常利益124億円（同3.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益73億円（同2.6%増）を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間35百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,604	21,630
受取手形、売掛金及び契約資産	15,118	15,426
商品	2	2
貯蔵品	182	154
その他	3,570	3,742
貸倒引当金	△33	△35
流動資産合計	38,445	40,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,086	33,715
土地	45,040	45,984
その他(純額)	10,706	9,476
有形固定資産合計	87,832	89,177
無形固定資産	2,938	2,805
投資その他の資産	6,456	6,974
固定資産合計	97,227	98,957
資産合計	135,672	139,879
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,316	7,015
短期借入金	16,831	17,201
未払法人税等	1,803	2,073
賞与引当金	1,288	1,362
厚生年金基金解散損失引当金	49	44
その他	8,354	8,270
流動負債合計	35,644	35,967
固定負債		
長期借入金	5,866	5,645
退職給付に係る負債	5,862	5,892
厚生年金基金解散損失引当金	76	52
その他	6,629	7,576
固定負債合計	18,435	19,167
負債合計	54,079	55,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,445	6,445
利益剰余金	59,046	61,865
自己株式	△643	△643
株主資本合計	71,395	74,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	192
退職給付に係る調整累計額	△54	△39
その他の包括利益累計額合計	162	152
非支配株主持分	10,034	10,377
純資産合計	81,592	84,744
負債純資産合計	135,672	139,879

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益	61,267	64,962
営業原価	53,964	57,313
営業総利益	7,302	7,649
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	1
役員報酬	403	427
給料及び手当	425	456
賞与引当金繰入額	67	66
退職給付費用	21	33
その他	880	1,035
販売費及び一般管理費合計	1,798	2,021
営業利益	5,504	5,628
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	39	44
固定資産売却益	57	97
助成金収入	21	74
売電収入	220	223
雑収入	156	249
営業外収益合計	496	689
営業外費用		
支払利息	72	71
売電原価	113	110
雑損失	50	45
営業外費用合計	236	227
経常利益	5,764	6,090
特別利益		
負ののれん発生益	-	105
特別利益合計	-	105
特別損失		
物流センター移転閉鎖損失	16	10
関係会社株式評価損	-	76
特別損失合計	16	87
税金等調整前四半期純利益	5,748	6,109
法人税、住民税及び事業税	1,832	1,958
法人税等調整額	35	△13
法人税等合計	1,867	1,945
四半期純利益	3,880	4,164
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,389	3,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	491	499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△24
退職給付に係る調整額	15	19
その他の包括利益合計	△8	△5
四半期包括利益	3,872	4,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,387	3,654
非支配株主に係る四半期包括利益	484	503

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	37,502	23,606	61,109	-	61,109
その他の収益	157	-	157	-	157
外部顧客への営業収益	37,660	23,606	61,267	-	61,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	752	840	△840	-
計	37,749	24,358	62,108	△840	61,267
セグメント利益	4,573	928	5,501	2	5,504

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。
- 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	40,418	24,277	64,696	-	64,696
その他の収益	266	-	266	-	266
外部顧客への営業収益	40,685	24,277	64,962	-	64,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	997	1,091	△1,091	-
計	40,779	25,275	66,054	△1,091	64,962
セグメント利益	4,905	721	5,626	2	5,628

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)
「物流センター事業」セグメントにおいて、東日本急行株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1億5百万円であります。
- 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。